

日本放射線腫瘍学会 日本がん看護学会 共催

がん放射線治療 看護セミナー

第13 回テーマ：婦人科がんの化学放射線療法を受ける患者の看護

開催日時：2011 年9月24日(土)

開催場所：すみだリバーサイドホール

東京都墨田区吾妻橋 1 丁目 2 3-2 0

http://www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/tamokuteki/sumidariversidehall/index.html

募集方法：日本放射線腫瘍学会ホームページから受け付け、応募が募集人員に達した時点で締め切る。

日本放射線腫瘍学会ホームページアドレス：<http://www.jastro.jp/>

募集人数：300 名

参加費：5,000 円（日本放射線腫瘍学会もしくは日本がん看護学会会員）

8,000 円（非会員）

【はじめに】

がん医療の中で放射線治療は根治から症状緩和まで重要な役割を担っているが、放射線治療を受ける患者が増加する中で、「放射線」に対する根強い誤解や知識不足による不安を抱いている患者も多い。よりよい治療選択をすすめる際に、看護師がわかりやすい言葉で生活に即した説明を行うことは重要である。これは患者のセルフケアを促進することにもつながる。

また、放射線治療を受ける患者は他のがん治療と同様に種々の有害事象を経験する。これらの有害事象の多くは適切なアセスメントと効果的なケアの提供で症状を予防、もしくは低減させることが可能となる。

一方、放射線治療には放射線腫瘍医や診療放射線技師、医学物理士など多くの医療者が関わることも特徴のひとつである。これらの医療者が患者を中心とした円滑なコミュニケーションを図るためにも看護師は重要な役割を担っており、必要とする知識は専門的で広範囲に及び、臨床では習得する機会が少ない現状である。そこで、患者が安心して適切な放射線治療を受けられるように、放射線治療の知識の普及を目的として本セミナーを継続して開催している。

【第13 回セミナー開催にあたって】

第1 回及び第2 回はほとんどの患者が経験する「皮膚炎」を、第3 回以降は参加者アンケートで要望の高かった「口腔・咽頭粘膜炎」「骨転移」「子宮頸がん」「前立腺がん」「乳がん」「胸部」をテーマとして開催し、いずれも参加者から高い評価を頂いた。前回からテーマに含まれる「化学放射線治療」も参加者アンケートの上位項目から決定

した。化学放射線療法が増加傾向にある一方で単独治療に比べて強い有害事象が出現することも多く、看護の役割は大きい。今回はシリーズ第2弾として、「婦人科がん」をテーマとする。本セミナーでは、患者への適切なアセスメントならびに効果的な看護実践のために必要な子宮頸がんをはじめとする婦人科がんへの化学放射線療法についての知識と情報を提供する。

【セミナーの目的】

がん放射線治療に関する看護の質向上を図るために、適切なアセスメントならびに効果的な看護実践に必要な知識を提供する。

【第13回セミナーの到達目標】

- 1) 婦人科がんへの化学放射線療法の特徴、作用・有害事象出現のメカニズムを含む基礎知識を理解する。
- 2) 化学放射線療法の基礎知識および婦人科がんへの放射線治療を受ける患者が抱える問題を理解し、適切なアセスメントならびに効果的・効率的な看護実践を結び付けて考えることが出来る。

【セミナーの構成】

- 1) 婦人科がんへの化学放射線療法に関する基礎知識、疾患の病態や治療法、看護ケアについて概説する。最後のセッションでは参加者に提示された症例や質問を講師や他の参加者を含めてディスカッションする。
- 2) 最後のセッションの実施にあたり「婦人科がんへの化学放射線療法」の看護ケアに苦慮した症例と質問等について、当日会場にて配布するアンケートを記入後に回収する。

【カリキュラム（予定）】

時間	内容	講師	備考
～9:25	Information		5分
9:25～9:30	開会の辞	根本建二 JASTRO 理事	5分
9:30～10:40	婦人科がんへの化学放射線療法の原理と副作用	九州大学保健学科 平田秀紀先生	70分
10:40～10:55	休憩		15分
10:55～11:55	外部照射（化学放射線療法）と看護ケア	京都市立病院 枚岡かおる先生	60分
11:55～13:00	昼食		65分

13:00~13:50	婦人科がんの診断と治療	国立がん研究センター 中央病院婦人腫瘍科 科長 笠松高弘先生	50 分
14:00~15:00	小線源治療と看護ケア	自治医科大学付属病院 森 貴子先生	60 分
15:00~15:15	休憩		15 分
15:15~16:05	婦人科がん治療とセクシャリティ	獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座 高橋 都先生	50 分
16:05~16:50	ディスカッション・質疑応答		45 分
16:50~16:55	閉会の辞		5 分